

ひよば



養老川にかかる宝衛橋を渡る参加者

秋の溪谷を訪ねて ふれあいウォーク

好天に恵まれた11月12日、ふれあいウォークが行われ、約90名が参加しました。

今回は大多喜町の養老溪谷を一周するコース。参加者は町文化会館へ集合し、バスで一路養老溪谷駅へと向かいました。ハイキングは駅から約7キロメートルのコースで、午前中は宝衛橋を渡り、58棟のバンガローが建てられている奥養老バンガロー村で休憩。そして観音橋を渡り、昼食は川原で各自持ち寄ったお弁当と、毎回恒例の婦人会の皆さんが作ってくれたとん汁を食べながら、自然を満喫しました。また、川原は、参加者の他にバーベキューを楽しむ家族連れなどで賑わっており、普段

静寂な溪谷に笑い声などが響き渡っていました。

午後からも白鳥橋、宝衛橋など養老川にかかる橋を渡り、駅へ到着しましたが、澄んだ空気と川のせせらぎを聞きながらのハイキングで、参加者の心もリフレッシュしたようです。

また、今回で10回目を迎えたこの催しに、初回から連続10回参加された森清子さん（古川）と鈴木道子さん（上町）のお2人へ越川教育長から記念品が贈られました。



温かいとん汁でホッと一息

1号線クリーン作戦

「生き活き横芝まちづくり推進協議会」(今関清吉会長)のみなさんが11月11日、横芝小学校南側1号線水路の清掃を行ってくれました。

推進協議会は、恵まれた自然環境を大切にしながら、ボランティア活動などにより、より住みごこちの良い横芝町を創造していこう——と昨年7月に発足。当時360人だった会員も現在では400人を超え、これまでも屋形海岸の清掃など“クリーン事業”を積極的に展開しています。

この日は、午前6時から玉網やくまどを使って、水路の中に捨てられたゴミを上げる作業が行われましたが、集められた空きカン、空きビンは軽トラック3台分にもなりました。

今関会長は「きれいにすればゴミは捨てないと思う。これからもいい汗を流しながらより快適な町づくりに貢献していきたい」と話していました。

